



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

# 災害に備えてできることから始めよう

## 地域の防災訓練に参加しましょう

災害時の安全対策委員会では、市民の皆さんに積極的に地域の防災訓練に参加していただくよう周知を行っています。市内では、自主防災組織が20団体結成されており、地域が主体となった防災訓練を各地区で活発に実施しています。



▲河合地区自主防災会 防災訓練の様子

策を行うことができることから、地域が主体となる訓練は非常に重要となります。

### ▼問合せ

危機管理課  
市民協働課

また、市では年1回の「松原市防災総合訓練」をはじめ、小学校の日曜参観にあわせて、保護者と一緒に「地域防災訓練」を実施するプロジェクト「地域防災ネットワークプロジェクト」の活動も実施しています。



▲地域防災ネットワークプロジェクト訓練の様子

## 両隣声かけ運動とは

避難する際に、自宅の両隣にも、『無事ですか？一緒に避難しませんか？』と声をかける運動です。

無事が確認できれば、両隣の家にもタオルをくりつけて、この家は無事である意思表示をしてあげてください。非常持ち出し袋にはタオルを3本ご用意ください。

## タオル運動とは

この家には救助を必要とする人はいないということを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくりつける運動です。

ドアノブやポストなどにタオルをくりつける、挟み込むなどしてください。



## みんなで広めよう タオル運動 両隣声かけ運動

3月8日に実施した松原市防災総合訓練の避難経路確認訓練の一環として、各家庭でタオル運動および両隣声かけ運動を実施していただきました。

この運動は、高齢者など災害弱者の逃げ遅れによる被害を防ぎ、迅速な安全確認作業を行うために重要な運動です。災害時に多くの皆さんに実施してもらうためにも、普及活動にご協力をお願いします。

## 日頃からの備えが大切です

いつ起こるか分からない地震に備えて、家庭内の防災対策を行いましょう。

■**家屋やブロック塀などの点検・補強**  
ブロック塀など倒れる恐れがあるものは、避難時に障害となります。しっかりと補強をするなど対策をしましょう。

■**家具などの転倒防止**  
地震で負傷する大きな原因は、家具の転倒や落下物によるものです。家具の固定はもろろん配置などを変えるだけで被害を軽減できることもあります。

市では、食料・水など一定の備蓄をしていますが、避難所などに物資が届くまでに時間を要する場合があります。

### ■備蓄品・非常持ち出し品の準備

<input checked="" type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 応急医療品	<input type="checkbox"/> 軍手・マスク
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品
		<input type="checkbox"/> タオルなど

それらに備えて、家庭内でも1週間分の備蓄品や持ち出し品の準備をしてください。下記のチェック項目を参考にいつでも持ち出せる場所に置いておきましょう。

